

【 第15回ジュニアアジア選手権 】

2016年7月22日～8月1日

開催国:ヨルダン

試合結果報告

8 月 1 日 (月)

JAPAN	VS	KOREA
14	前半	15
15	後半	18
	第一延長	
	第二延長	
29	合計	33

個人得点

No.	名 前	前半	後半	合 計
1	袈屋 竜流			0
2	藤村 勇希	2		2
3	園田 涼太			0
4	康本 侃司			0
5	田里 亮稀	2	2	4
6	小澤 基	2	3	5
7	伊舎堂 博武	2	1	3
8	原田 竜汰		2	2
9	大谷 由岐也			0
10	三重 樹弥	4	2	6
11	安平 拓馬			0
12	羽諸 大雅			0
13	牧野 イサム	2	4	6
14	北詰 明未			0
15	山田 信也			0
16	前原 大輝			0
17	川上 勝太		1	1
18	中田 凌河			0
				0
	合計	14	15	29

試合結果

戦評

ジュニアアジア選手権、3位決定戦の相手は韓国。スターティングメンバーは前戦と代わらず、LW小澤、LB牧野、CB田里、RB伊舎堂、RW三重、P山田の布陣で始まった。日本のスローオフで試合は始まり、日本は牧野のミドルシュートで先制するが、すぐさま韓国にサイドランジションからポストを使われ同点に追いつかれる。中盤までは交互にとりあい、一進一退の攻防が続くが、日本は小澤、藤村の連続得点で10対8とリードする。そこから韓国はDFシステムを4-2DFに切り替え日本のOFリズムを崩しにかかる。韓国はOFでも日本のDF陣に接触されながらもプレーを継続し、No.77、No.17を中心に得点を重ね、プレッシャーをかける。日本は14対15の1点差で前半を終えた。後半に入り、日本はすぐさま同点に追いつく。そこから日本は韓国のDFを崩してシュートまではもっていくが、そのシュートがことごとくクロスバーに嫌われる。その間に、韓国はNo.77、No.17が得点を重ねていく。日本は三重、田里、牧野の速攻で韓国を追いかけるが、時間が足りず、29対33で試合を終えた。

報告記入者 :

寺脇 将